

## 国立国会図書館等の図書館向けサービス・事業に関する調査（お願い）

国立国会図書館の近年の事業展開には目覚ましいものがあり、国内図書館向けサービスも充実してまいりました。こうした国立国会図書館を始めとする各種の図書館関連のサービスや事業について、国内の各種図書館がどのように受け止めているのかを、中立的な立場から学術的に調査し、わが国の図書館全体の振興に役立てたいと考えております。

この調査では、図書館を設置する都道府県及び市区そして4年制大学の図書館（中心館）すべてに回答を依頼しております。本調査については、国立国会図書館にもご了承いただいておりますので、業務でお忙しい折に恐縮ですが、どうぞご回答くださいますようお願い申し上げます。

また、調査結果は、館種別に全体を集計し、図書館名や個人名が特定できるような形で公表することはありません。

2012年6月26日 慶應義塾大学文学部 糸賀研究室

### 1. 調査項目

- 問 1. 国立国会図書館の図書館向けサービスと各種事業
- 問 2. 国立国会図書館の果たすべき機能
- 問 3. 国内外の情報サービス機関の利用
- 問 4. 貴館が注目する国内の図書館

### 2. 回収方法・期限

同封しました返信用封筒で 7月20日（金）までにご投函ください。

なお、以下のサイトにも同じ調査票を置いておりますので、ダウンロードして回答し、メール添付で送信いただいても結構です。また、全体の集計結果も同じサイトで10月中旬に公表する予定です。

URL : <http://web.keio.jp/~osada/>

#### <お問い合わせ先>

〒108-8345 東京都港区三田 2-15-45 慶義塾大学文学部糸賀研究室 Tel&Fax 03-5427-1224  
指導教員：糸賀雅児（いとが まさる） 教授（図書館・情報学専攻） itoga@z8.keio.jp  
担当院生：府川智行（ふかわ ともゆき） 図書館・情報学専攻後期博士課程 fukawa@z3.keio.jp  
担当学生：長田 咲（おさだ さき） 図書館・情報学専攻4年 sa10709ki@z8.keio.jp

問 1. 国立国会図書館の図書館向けサービスと各種事業

1-1 次に掲げるような国立国会図書館が国内の図書館に向けて実施しているサービスや事業について、貴館の業務全体ではどの程度利用されていますか。

また、貴館の業務全体においてどの程度有用(役立っているか)と考えますか。それぞれについて、あてはまる番号を○で囲んでください。

利用度：4	頻繁に利用（週に1回以上）	3	ときどき利用（月に1回以上）	2	まれに利用（年に1回以上）	1	利用していない
有用度：4	たいへん有用である	3	おおむね有用である	2	あまり有用でない	1	わからない

表 1 国立国会図書館の図書館向けサービスと各種事業

回答記入欄

	番号	事業名称	事業内容 (ここでは、国立国会図書館をNDLと略記しています。)	利用度				有用度			
				頻繁に利用	ときどき利用	まれに利用	利用していない	たいへん有用	おおむね有用	あまり有用でない	わからない
	例	食堂・売店	NDL 来館者の便宜を図るため、館内で手軽な食事を提供したり、また文具類の販売を行ったりする。	4	3	②	1	④	3	2	1
図書館向け資料・情報サービス	1	図書館間貸出	図書館間貸出制度に加入した機関に対し、NDL 所蔵の図書を貸出するサービス。インターネットまたは申請書を郵送する申込み方法がある。	4	3	2	1	4	3	2	1
	2	資料の複写	NDL の所蔵する図書、雑誌、雑誌記事、新聞、電子ジャーナル等を複写して郵送をするサービス。NDL-OPAC または郵送での申込み方法がある。	4	3	2	1	4	3	2	1
	3	国立国会図書館総合目録ネットワーク(ゆにかねっと)	県域を越えた公共図書館の和図書の総合目録ネットワーク。公共図書館資料資源の共有化、書誌サービスの標準化と効率的な使用、全国的な相互貸借等の支援が目的。国立国会図書館サーチで提供されている。	4	3	2	1	4	3	2	1
	4	レファレンス・サービス	最寄りの図書館で解決できないレファレンス質問を受けた際に、登録利用者(機関)を通じてインターネットまたは郵送により受け付けし、NDL が回答をするサービス。	4	3	2	1	4	3	2	1
	5	レファレンス協同データベース	参加館が作成・登録したレファレンス事例等のデータを蓄積し、インターネットを通じて提供をするサービス。図書館におけるレファレンス・サービスと一般利用者の調査研究活動支援が目的。NDL も参加館としてレファレンス事例を登録。	4	3	2	1	4	3	2	1
	6	障害者サービス支援	「点字図書・録音図書全国総合目録」の作成や学術文献録音図書の配信サービス、障害者サービス担当者向け講座等を実施。	4	3	2	1	4	3	2	1
	7	カレントアウェアネス・ポータル	図書館界、図書館情報学に関する最新の情報をお知らせする、NDL のサイト。ブログやメールマガジン、季刊誌等で情報発信を行う。	4	3	2	1	4	3	2	1
	8	メールマガジン(図書館協力ニュース)	「図書館へのお知らせ」「図書館員の研修」に掲載しているNDL の図書館協力に関する情報を発信するメールマガジン。	4	3	2	1	4	3	2	1
	9	図書館員の研修	図書館員の資質向上、知識・習得を目的とした研修事業。「集合研修」、「遠隔研修(e-ラーニング)」、「派遣研修」がある。	4	3	2	1	4	3	2	1
国際子ども図書館事業	10	国際子ども図書館事業	国内外の児童書とその関連資料に関する図書館サービスを国際的な連携の下に行う国立の児童書専門図書館。子ども向け催し物や図書館間貸出、講座、展示会等のサービスを行う。2012年1月から国際子ども図書館子どもOPACを公開。	4	3	2	1	4	3	2	1

書誌情報の作成・調整	11	全国書誌の編纂・データ提供	国内出版物、国外刊行の日本語出版の書誌情報を収録する「日本全国書誌」の編纂・提供。インターネットでのダウンロードとJAPAN/MARC(商品名)の提供がある。	4	3	2	1	4	3	2	1
	12	国立国会図書館典拠データ検索・提供サービス(Web NDL Authorities)	NDLが維持管理する典拠データを一元的に検索・提供するサービス。普通件名典拠に加え、名称典拠(個人名・家族名・団体名・地名・統一タイトル)のデータも収録。	4	3	2	1	4	3	2	1
	13	NDL-OPAC	NDL所蔵の図書や雑誌、新聞、電子資料、国内博士論文などの蔵書検索の他、電子ジャーナル等を含め検索結果から複写の申込みを可能にしたシステム。雑誌記事索引の検索、書誌データのダウンロードが可能。	4	3	2	1	4	3	2	1
電子図書館事業	14	国立国会図書館サーチ	全国の公共図書館、公文書館、美術館や学術研究機関等が提供する資料、デジタルコンテンツを統合的に検索できるサービス。	4	3	2	1	4	3	2	1
	15	リサーチ・ナビ	調査のポイントや参考資料、専門室の情報、便利なデータベースの紹介、使えるWebサイトの案内など、調べものに役立つ情報を提供。	4	3	2	1	4	3	2	1
	16	データベース・ナビゲーション・サービス	国内で公開されているウェブ上の各種データベースへのリンクを提供するゲートウェイ・サービス。	4	3	2	1	4	3	2	1
	17	デジタル化資料	NDLで収集・集積されているさまざまなデジタル化資料を検索・閲覧できるサービス。貴重書や図書、雑誌、新聞、歴史的音源、官報、博士論文等を提供。	4	3	2	1	4	3	2	1
	18	インターネット資料収集保存事業	インターネット上で公開されている情報資源を文化遺産として保存するプロジェクト。元の状態のまま、ウェブサイト別に保存・提供するサービスとインターネット上の刊行物を抽出して、著作別に保存・提供するサービスがある。	4	3	2	1	4	3	2	1
立法調査	20	国会関連情報	国会の諸活動から生まれた各種情報、また国会の立法・行政監視活動に資する情報を提供するWebページ。調査及び立法考査局の刊行物のPDF版での提供や国会会議録検索システム、日本法令索引等の国会関連データベース等を提供。	4	3	2	1	4	3	2	1
				資料の収集・保存	21	納本制に基づく資料の収集・保存	納本制に基づき、国民の文化的財産・知的資源としての国内出版物(地図、レコード、マイクロフィルム等を含む)の収集・保存を行う。	4	3	2	1

©itoga2012

1-2 上の表1の中で**国立図書館として重要**と考えるサービスや事業を、**3**つまで選び、**その番号**を下の記入欄に記入してください。

--	--	--

問2. 国立国会図書館の果たすべき機能

国立国会図書館の果たすべき機能の中で、**特に重要である機能**は何だと考えますか？

右の表2の1~10から**3**つまで選び、その番号を下の記入欄に記入してください。

--	--	--

※「10 その他」を選ばれた方をお願いします。重要であると考えた機能を**具体的に**記入してください。

表2 国立国会図書館の果たすべき機能

1	国会に対する立法補佐
2	国内出版物の網羅的収集・保存
3	書誌データ・典拠データの作成・維持
4	電子情報の蓄積・保存・提供
5	知的資源への国民のアクセス保証
6	学術情報の基盤(知識インフラ)の整備
7	国内の各種図書館との連携・協力
8	図書館界におけるリーダーシップ
9	図書館界における国際交流の拠点
10	その他(具体的に左の記入欄にお書き下さい。)



